

令和8年度 第1回学校運営協議会（学校魅力強化委員会）議事録

- 1 期 日：令和8年6月1日（月）14:30～16:30
- 2 場 所：有田工業高校 会議室
- 3 出席者：外部委員9名（校長を含む）、欠席4名
事務局（本校職員）14名、教育振興課2名、傍聴者1名（学校魅力化アドバイザー）

4 議事録

(1)開会

以下の4点について連絡し、出席されている委員に承諾を得た。

- ・「佐賀県立学校運営協議会の設置等に関する規則」の第8条に基づき、本協議会は公開であること。
- ・傍聴希望は、事前申請のうえ、傍聴可能となっていること。
- ・議事録作成や活動実績報告のため、事務局で音声記録や写真等を撮ること。
- ・「佐賀県立学校運営協議会の設置等に関する規則」の第7条第2項「協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」を確認し、本会議は過半数以上の出席を得ており、会議は成立していること。

(2)任命状交付

- ・机上交付とした。

(3)学校長挨拶

以下4点の内容に触れ、挨拶とした。

- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）5年目の実施となること。
- ・唯一無二の誇り高き学校として、県内外からの志願者増、学校の魅力化に取り組むこと。
- ・県教委及び有田町の協力により「地域みらい留学」に取り組んでおり、全国から13名の生徒が在籍している。
- ・「唯一無二の学校魅力化促進事業」として、県内外からの志願者増、地域みらい留学等に取り組む中で、「子どもたちが通ってよかった、保護者にとって子どもを通わせてよかった学校づくり」を目指すこと。

(4)佐賀県教育委員会事務局挨拶

- ・学校運営協議会、地域みらい留学に取り組む有田工業高校の取組、県内の9校の指定校の中でも活発な取り組みが見られることを紹介し挨拶とされた。

(5)委員及び本校事務局教職員の紹介

- ・出席した委員8名より自己紹介を行った。

(6)会長及び副会長選出

- ・「佐賀県立学校運営協議会の設置等に関する規則」第6条第1項の「協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める」という規定を紹介し、会長及び副会長を推薦し、出席されている委員の承認を得て、会長及び副会長を決定した。

(7)会長挨拶

- ・会長としての抱負を述べられ、挨拶された。

(8)説明事項（進行は会長）

①学校運営協議会制度について

- ・主幹教諭より、配付資料をもとに、学校運営協議会制度について説明を行った。

②SAGA 唯一無二の学校魅力化促進事業について

- ・主幹教諭より、配付資料をもとに、学校運営協議会制度について説明を行った。

(9) 議事 (進行は会長)

① 令和 8 年度 学校運営の基本方針等について

○ 学校長より、配付資料をもとに、以下の 3 点について要点を簡潔に説明した。

- ・ スクール・ミッション及びスクール・ポリシーについて
- ・ 長期経営計画及び本年度の教育目標 (学校要覧 P. 7-8、P. 57-58)
- ・ 令和 8 年度 学校評価計画について

② 令和 8 年度 学校運営協議会の年間計画

○ 主幹教諭より、配付資料をもとに、学校運営協議会の年間計画を説明した。

○ 主な取り組み内容として、以下のような内容があることを説明した。

- ・ 教育課程及び教科書選定の承認
- ・ 就職試験に向けた面接試験への協力
- ・ 学校魅力化評価システム中間報告に伴う生徒との意見交換
- ・ 学校評価に係る関係者評価
- ・ 「業務管理・健康確保措置の実施に関する内容」の承認

10 意見交換

(1) 説明

○ 意見交換「SAGA 唯一無二の学校魅力化促進事業について」に伴い、これまでの学校運営協議会において各委員にどのような提示して頂いたか、以下のような事例を簡潔に説明した。

- ・ 学校評価計画における成果指標 (数値) についての提案
- ・ 「グランドデザインの理解を深める」ためのロングホームルームの実施
- ・ 学校ホームページにおけるバナーの提示について
- ・ 地域学習における地元企業の訪問候補先の提示

(2) 意見交換

質問①：学校魅力化評価システムアンケートの結果「地域における問題にかかわりたい」「地域のために役立ちたい」という質問で肯定的な回答が少ないが、昨年度の卒業生の進路状況 (就職) について、その生徒の就職希望先の傾向をどのように捉え、どのように考えているのか。

回答：(進路指導部より) 就職希望者の 1/4 が県外就職。ここ数年の生徒の希望の傾向として、県外就職をした本校の先輩との繋がりから県外就職を希望している傾向にある。年度によってその傾向は違うが、今年度は例年よりも若干、県内就職が増えている。学校としては、県内就職について積極的に紹介している。

質問②：今現在、有田工業高校に在籍している生徒の様子を知りたい。生徒会の積極的な活動が見られるなど、学校に通っている生徒が楽しそうであれば、それを見聞きしている中学生も、有田工業高校に行きたいと思うのではないか。

回答：現在の本校の生徒会は、積極的な活動が見られる。いろんなことにチャレンジしようとする情熱ある若い教員が生徒会を担当していることもある。

回答：その学校の生徒が楽しいと感じていれば、それが地域の中学生へ伝わり、生徒も集まってくるのが考えられるが、本校では「唯一無二の学校魅力化促進事業」の事業において、取組のサブテーマとして「生徒のウェルビーイングの向上」というのを目指して、様々なことに取り組んでいる。例えば、校則について、生徒会からの意見を反映させるようなことにも取り組んでいる。また、学校運営協議会の委員と生徒の生徒との意見交換も実施し、生徒が学校作りに寄与できているというような「効力感」を感じられるような取組を進めている。また、各科においては、課題研究という授業において、生徒を地域に出して、生徒が主体性を持って取り組むような授業も実施されている。本校の生徒が元気で生徒が集まって、それが地域に伝わり、地域が元気にな

って地域振興に貢献していくというようなビジョンを持って取り組んでいるところである。

質問③：学校魅力化評価システムアンケートの実施時期と回数を知りたい。

回答：学校魅力化評価システムアンケートは年2回で8月と12月に実施している。

質問④：生徒募集に関わって、高校入試の募集枠及び地域みらい留学の募集枠について詳しく知りたい。

回答：昨年度までの高校入試の募集枠(特別選抜・一般選抜)について、以下の2つの表の内容を説明し、地域みらい留学の募集枠はないことについて説明した。

(表1) 特別選抜における募集枠

指定校	基づく募集枠の種類	部活動	募集学科	男女/人数
スポーツ 推進指定校	競技実績	ウエイトリフティング部	全科	男・女/3名
	学校希望	野球部		男/6名
		バスケットボール部		男/2名
文化芸術 推進指定校	特色ある 教育課程	セラミック科	男・女/16名	
		デザイン科	男・女/16名	
	学校希望	ロボット研究部	電気科	男・女/2名
		窯業研究部	セラミック科	男・女/2名

(表2) 特別選抜における募集枠

課程	募集定員/人数
全日制課程	全募集定員160名から特別選抜試験における合格者数を差し引いた数
定時制課程	セラミック科
	デザイン科

今年度の入試については申請中であること、令和10年度入試から入試制度が大きく変わることについて説明した。

意見⑤：「地域との交流」という観点から、放課後に地域の小学生や中学生に対して、プログラミング体験やロボット製作教室などの実施について検討してはどうか。地域で不登校生徒の復帰に向けた支援を実践しているが、不登校生徒が興味を引くような取組があると、そのような生徒の支援や地域との交流が活性化されるのではないか。

回答：地域の小学生との交流向けに、本校の各学科における学びを知る機会を設けたいと考えている。実施に至っては、放課後の小学生の参加を考えると時間的な制約や教員の時間外勤務の削減などの働き方改革という課題がついてくる。学校の情報を積極的に地域の方々へ発信したいと考えていますので、いろいろご意見いただきたい。

お願い：地域みらい留学の合同進学説明会(7月大阪、8月東京)に参加予定であるが、本校のブース来訪者に有田ならではの記念品を中学生や保護者へ渡したいと考えている。委員のみなさまから提供可能な記念品があればお願いしたい。

質問⑤：どのような記念品を考えているのか教えてほしい。

回答：昨年度は、箸置き、有田町からエコバッグを提供いただいた。昨年度の本校ブースへの来訪者は、6月東京では24組、8月東京では45組であった。

11 諸連絡

- (1) 次回以降の日程調整について
- (2) 事務手続き書類について
- (3) 次回は、8月上旬に開催予定
- (4) 学校施設・設備の見学についての案内

12 閉会

- ・ 学校長により、次回以降の協力についてお願いし、閉会の挨拶とした。